

情報公開文書

臨床研究「Purkinje 関連心室性不整脈における Septal q 波の欠如：洞調律心電図による Purkinje 系伝導異常の検討」について、東京心臓不整脈病院循環器内科では、標題の臨床研究を実施しております。
本研究の概要は以下のとおりです。

① 研究の目的

Purkinje 関連心室性不整脈 (Purkinje-related ventricular arrhythmias:P-VAs) は、Purkinje 線維を起源または回路の一部とする心室頻拍 (VT)、心室細動 (VF) および心室性期外収縮 (VPC) を含む不整脈群です。

近年、Purkinje 系の局所伝導異常や基質異常がこれら不整脈の発生に関与することが報告されています。しかしながら、洞調律時 12 誘導心電図における特徴的所見については十分に検討されていません。

本研究では、Septal q 波の有無に着目し、Purkinje 関連心室性不整脈患者における洞調律心電図所見を解析することにより、Purkinje 系伝導異常を反映する新たな非侵襲的指標を明らかにすることを目的としています。

② 研究対象者

2010 年 1 月 1 日から 2026 年 12 月 31 日までに、東京心臓不整脈病院および共同研究機関において、Purkinje 関連心室性不整脈に対してカテーテルアブレーション治療を受けられた患者様。

③ 研究期間

倫理審査委員会承認後～2031 年 12 月 31 日まで

④ 研究の方法

保存された 12 誘導心電図および診療記録を用いて、Septal q 波の有無やその臨床的意義について検討します。

また、不整脈の種類 (VT、VF、VPC)、基礎心疾患の有無、アブレーション施行部位などとの関連について解析します。

⑤ 試料・情報の項目

診療記録（年齢、性別、基礎心疾患、不整脈診断、アブレーション所見、アブレーション成功部位など）

検査データ（12誘導心電図など）

⑥ 試料・情報の第三者への提供について

本研究は多機関共同研究として実施されます。

各施設で匿名化された情報のみを研究代表機関である東京心臓不整脈病院へ提供します。氏名や患者IDなど個人を特定できる情報が外部へ提供されることはありません。

⑦ 試料・情報の管理について責任を有する者

東京心臓不整脈病院 循環器内科 野上昭彦

⑧ 本研究への参加を希望されない場合

患者さんやご家族（ご遺族）が本研究への参加を希望されず、試料・情報の利用又は提供の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

⑨ 利益相反に関すること

本研究に開示すべき利益相反はありません。

また、研究者の利益相反は当院の利益相反委員会および臨床研究倫理審査委員会で審査の上、適切に管理されています。

⑩ 研究により得られた結果等の取り扱いについて

研究結果は学会発表および学術雑誌への論文投稿により公表する予定ですが、研究対象者に対する個別の結果説明は行いません。

⑪ 研究組織

【研究代表機関】

東京心臓不整脈病院 研究代表者：野上昭彦

【共同研究機関】

筑波大学循環器内科 研究責任者：篠田康俊

大垣市民病院循環器内科 研究責任者:森島逸郎

横浜労災病院循環器内科 研究責任者:青木元

群馬県立心臓血管センター循環器内科 研究責任者:中村紘規

東京女子医科大学循環器内科 研究責任者:樋口諭

⑫ 問い合わせ連絡先

東京心臓不整脈病院

〒132-0035 東京都江戸川区平井 3-25-17

所属・担当者名:

循環器内科 担当 野上昭彦

電話:03-3638-2301

(平日 9:00~17:00)